

令和6年度第3回小合・金津・小須戸圏域支え合いのしくみづくり会議報告

日時：令和7年2月21日（金） 10:00～11:30

会場：小須戸地区ふれあい会館 研修室

【出席者】

小合コミ協：野瀬山副会長、金津コミ協：青木会長、小須戸コミ協：五十嵐福祉部員、山の手地区社協：栞山副会長、小合民児協：古田会長、金津民児協：茨木会長、小須戸民児協：米田会長、長寿楽：白井代表、こすどプラチナネットワーク：大貫副代表(代理)、地域包括支援センターこすど：木村センター長
秋葉区健康福祉課高齢介護担当：今井係長(行政担当者)
秋葉区社協：稲垣事務局長、米山、藤田、小林

1 今年度のふり返り

テーマ 圏域全体での取り組みとしてのサロン交流 支え合いのしくみづくりの周知

ふり返り

- ・サロン情報交換会では、参加サロンが日頃思っていることや現状を共有することができた。
- ・サロンへの若い人の参加が難しい。50、60代を引っ張っていき、次の世代の参加を考えなければいけない。
- ・コミ協、地区社協と連携してサロン活動に取り組めると良い。
- ・参加者が変わると空気が変わる。様々な人が参加できると良い。
- ・だんだん・嶋岡では福祉事業所と関わっている。地域の団体とつながることが大事。
- ・居場所への移動方法がないことは課題を感じている。
→金津ではタクシーの利用等、地域にあるものを活用していく。
- ・地域にサロンについてアンケートを実施した。サロンに参加されている方はいきいきしている人が多い。(包括)
- ・サロンのない地域で立ち上げができるよう、小合コミ協でサロンを開催し、支援を考えている。取り組み方は検討中。

今後の取り組み

- ・今回の会議の意見も含めて、サロン情報交換会での意見を基に、構成員とともにサロンの課題に取り組む。
- ・他の地域のサロンを見学し、それぞれの地域性を知る。構成員が勉強し、情報を地域に広げていく。
→他団体との接点を増やしていく。研修会を検討する。
- ・小戸下組で取り組んでいる生活支援活動を、小合全体に広められるか、コミ協と連携しながら考えている。
- ・包括への相談があった際、地域にある生活支援に対して、活用できるようつなげたり、周知を行っていく。

2 令和7年度の取り組みについて

①圏域の取り組みについて

- ・民生委員としてもサロンへ関わっていく。
- ・サロンは支え合いのしくみづくりを考えるうえで重要であるため、サロンに関わっている方を構成員として入ってもらえるか検討する。
- ・自治会やPTAを含めて支え合いのしくみづくり会議を考えていく。
→子ども等、多世代の支え合い活動を周知していく。
- ・構成員には、様々な機会に周知をさせてもらっている。地域住民等その他の方へ周知を広めていく。

→令和7年度の圏域のテーマは「サロンの課題への取り組みについて」検討する。

また、「支え合いのしくみづくりの周知について」も継続して検討する。